

平成 23 年度 脇町中学校 学力向上改善プラン

(1) 学力について

重点目標：すべての教育活動を通じて言語活動の充実を図る。		
具体的目標	数値目標	具体的方策
<ul style="list-style-type: none"> 生徒の考える力、コミュニケーション能力を高める授業研究を行う。 定期考査の得点分布の二極化を解消する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中に計画的に言語活動を取り入れ各教科担任がチェックシートなどを作成して、言語活動の充実を図り、表現する機会が増えたことを実感した生徒が1割以上増加するようにする。 定期考査の得点分布を理想的かつ高い正規分布に近づける。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師が一方向的に教えるのではなく、授業の中で生徒自身が考える場面、表現する（発表する・ノートにまとめる等）場面を設定し、記録として残していく。 各教科等で自己評価・相互評価を取り入れながら、個々の課題解決意欲を高める。 T・T指導を活用し、習熟度別指導を行うことによって、基礎学力の定着を図っていく。

(2) 学習状況について

重点目標：家庭学習習慣の定着を図り、授業に積極的に臨めるようにする。		
具体的目標	数値目標	具体的方策
<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習のてびきの活用を促進する。 自分の目標をたて、苦手な教科を克服させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習時間を学年＋1時間以上をめざす。 目標をたて、苦手教科・分野の克服ができた実感する生徒が1割以上増加するようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒に対しては、家庭学習のてびきを活用して、自主的な学習を促す。家庭へは、家庭訪問や三者面談などを通し、学校の取組との共通理解を図っていく。 阿波っ子すだち（巣立ち）宣言「続けよう！予習・復習、自分の努力」を合い言葉に、自分の目標を設定させ、学習習慣を身につけさせる。